

(記入例) ※日付は一例です

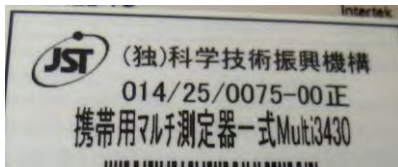
物品不用・処分申請書

提出日は「予定時期」よりも
前の日付で提出してください。

科学技術振興機構 殿		平成 27 年 4 月 30 日			
課題番号：H○○仙○-○○		「契約者名」を記載してください。 研究機関名：□□□□□ 機関代表者職名：□□□□□ 機関代表者名：□□ □□□ □印			
研究開発課題名：□□□□□□□□□□□□□□□□					
研究開発担当者：□□ □□					
下記物品が不用となりましたので、その処分方法についてご通知願います。					
設置場所・住所	株式会社 □□□□□ ×××研究所 □□県□□市□□ ○○-○				
不用・処分 予定時期	平成 27 年 5 月 25 日				
番号	品名規格：型番（メーカー）	取得金額 （円）	検収日	JST 物品管理 番号	備考
1	携帯用マルチ測定器一式 Multi3430 （メーカー名）	318,600	H26.12.11	014/25/ 0075-00	
不用 理由	●添付資料				

資産取得報告書時に記載した
住所を記載してください。

物品に貼り付けした資産管理シールを確認し、
正しく入力してください。



- 注1. 不用理由につきましては、物品の現状を含め、修理不能、修理費用過多等、その理由を具体的にご説明下さい。
- 注2. 必要に応じ、物品の現状写真等を添付下さい。
- 注3. 機構の承諾なく勝手に廃棄することは認められません。